

# 事業概要

公益財団法人富山県下水道公社の定款の目的を達成するため、次の事業を行った。

(1) 富山県流域下水道の管理に係る指定管理者の業務

富山県から5年間（平成25年4月1日から平成30年3月31日まで）の富山県流域下水道の管理に係る指定管理者に指定され、小矢部川流域下水道、神通川左岸流域下水道について次の業務を実施した。

指定管理料

(単位：千円)

年度	協定額	精算額	増減
平成27年度	1,447,220	1,447,220	0
平成28年度	1,455,239	1,455,239	0

① 浄化センターの維持管理業務

- ア 運転管理計画の策定
- イ 水処理施設及び汚泥処理施設の運転管理
- ウ 施設及び備品の保守管理
- エ 運転管理業務に係る各種帳票及び記録簿の管理
- オ 水処理の水質試験
- カ 汚泥処理に係る汚泥分析試験
- キ 環境保全調査の実施
- ク 施設の清掃及び敷地内の管理
- ケ 溶融スラグの処分（売却を含む。）
- コ 溶融スラグの有効利用に関する検討
- サ 放流水の水質改善に係る調査研究
- シ 産業廃棄物処理
- ス ダイオキシン類測定業務

i) 流入水量

(単位：立方メートル)

流域名	H28年度 協定流入水量 (A)	H28年度 実流入水量 (B)	H27年度 実流入水量 (C)	B/A	B/C
小矢部川	25,315,488 69,358	24,405,072 66,863	25,011,775 68,338	0.964	0.976
神通川 左岸	20,385,408 55,850	20,383,794 55,846	20,224,596 55,258	1.000	1.008
合計	45,700,896 125,208	44,788,866 122,709	45,236,371 123,596	0.980	0.990

上段：年間流入水量、下段：日平均流入水量

ii) 放流水質

小矢部川流域下水道	放流 BOD	放流 S S	放流 pH	大腸菌群数 (個/cm <sup>3</sup> )
法令基準値	20	40	5.8~8.6	3,000
目標基準値	10	20	5.8~8.6	1,000
28年度	4	2	6.2~7.0	34

神通川左岸流域下水道	せせらぎ				海域			
	放流 BOD	放流 S S	放流 pH	大腸菌群数 (個/cm <sup>3</sup> )	放流 COD	放流 S S	放流 pH	大腸菌群数 (個/cm <sup>3</sup> )
法令基準値	20	40	5.8~8.6	3,000	20	40	5.8~8.6	3,000
目標基準値	10	20	5.8~8.6	1,000	15	20	5.8~8.6	1,000
28年度	1	1	6.0~7.4	1	9	3	6.5~7.1	1

目標基準値： 日常の管理にあたって目標となる基準

iii) 溶融スラグの発生量と有効利用用途

(トン/年)

流域名	H28年度分 溶融スラグ発生量	有効利用内訳(過年度生成分含)	
		建設資材※	有償売却
小矢部川	851	1,371	20
神通川左岸	452	747	0
合計	1,303	2,118	20

※県及び流域関係市の下水管の埋戻材等による有効利用

② ポンプ場の維持管理業務

ア ポンプ場設備の運転管理

イ 施設及び備品の保守管理

i) 小矢部川流域下水道

福上中継ポンプ場

ii) 神通川左岸流域下水道

西本郷中継ポンプ場

③ 幹線管渠の維持管理業務

ア 管渠、付帯計測設備及びマンホールポンプ場の保守管理

イ 道路高に合わせるためのマンホールの補修及びマンホール周辺等の舗装復旧

ウ 供用開始済み幹線管渠占用道路の巡回等点検調査

- i) 小矢部川流域下水道  
小矢部川幹線等 11 幹線及び放流渠約 124 キロメートル
- ii) 神通川左岸流域下水道
  - ア) 新湊高岡幹線等 6 幹線管渠約 72 キロメートル
  - イ) 第 I 放流渠等 3 放流渠約 9 キロメートル

④ 施設見学者の案内

施設見学者数

区分 流域名	小 学 校		その他	備 考
	学校数 (校)	人 数 (人)	人 数 (人)	
小矢部川	15	957	219	計 1,887 名 平成 27 年度より 30 名減
神通川左岸	9	460	251	
合 計	24	1,417	470	

- ⑤ エネルギー使用量の削減や資源リサイクルの徹底など環境に配慮した管理運営を行うとともに環境マネジメントである ISO14001 を確立し、外部機関の認証を受けること。

i) 省資源・省エネルギーの推進

項 目		小矢部川流域下水道	神通川左岸流域下水道
ISO 目標値		対前年度比 1%以上削減	対前年度比 1%以上削減
削減率 (H28/H27)		増 1.4%	減 1.0%
H17 を 100 とした場合 の割合	H20	93.5	82.8
	H21	96.8	81.6
	H22	92.3	78.2
	H23	93.5	75.7
	H24	90.3	84.1
	H25	92.3	81.2
	H26	92.3	81.6
	H27	91.6	84.5
	H28	92.9	83.7

原単位は電力、A重油及びプロパンガスの総使用量を原油換算し、  
処理水量で除したもの

ii) 外部審査機関による評価

平成 28 年 12 月 6 日に、外部審査機関 (MSA) の定期審査が実施され、  
環境マネジメントシステムが規格要求事項に引き続き適合し、適切に維持さ  
れているとの評価を受け、平成 29 年 1 月 13 日付けで認証維持が承認され  
た。

⑥ その他県が行う施設の増設工事の協力、業務分析等必要な資料の提出及び維持管理年報の作成

平成28年12月に平成27年度維持管理年報を作成

⑦ 下水道知識の普及啓発事業

実施項目	実施日	備考
ホームページの更新	6月13日他	5回実施
夏休み水の研究室の開催 ・二上浄化センター ・神通川左岸浄化センター	8月3日 8月9日	参加者 小学生と保護者 9組22名 5組13名
下水道フェスタの開催	9月10日	場所：神通川左岸浄化センター 来場者 777名
下水道に関するポスター展の実施及び展示 ・イオン高岡ショッピングセンター (2回展示) ・ファボーレショッピングセンター	8月23日 ～8月29日 11月16日 ～11月21日 11月25日 ～12月1日	毎年度継続して実施 流域関係市の小学4年生を対象 28年度参加者 21校582点
移動下水道教室の開催	11月22日 ～ 12月14日	富山市樫尾、神保小学校、射水市歌の森、下村、作道小学校、砺波市鷹栖、砺波南部小学校、小矢部市大谷小学校 8校303名受講
施設見学用教材の作成	3月	小学生等の施設見学説明用に下水道のしくみや下水中の汚れをきれいにする微生物のイラスト等が印刷された、下敷き及びクリアファイルを新たに作成 各2,000枚作成

⑧ 1件100万円未満の修繕

流域名	件数	金額(千円)
小矢部川	56	9,760
神通川左岸	48	13,054
合計	104	22,814

(2) 小矢部川流域下水汚泥処理業務

高岡市公共下水道の下水汚泥受け入れに伴う小矢部川流域下水汚泥処理業務の維持管理

受入汚泥量

※県と高岡市が契約

受入汚泥量(乾燥固形物量トン/年)	金額(千円)
977	71,102

(3) 自主事業

① 下水道技術の調査・研修・技術支援事業

実施項目	実施日	備考
場長会議	11月15日	参加団体 県及び15市町組合他 参加者 28名
市町村維持管理担当者会議	7月6日	参加団体 県及び15市町組合 出席者 31名

② 市町村水質分析受託事業

9市町組合から受託

水質分析受託種別	市町村名
流域下水道幹線管渠接続点への市町村からの流入水	高岡市、砺波市、小矢部市、南砺市、射水市
公共下水道、農業集落排水等の処理場の流入水、放流水	射水市、氷見市、上市町、朝日町、中新川広域行政事務組合
脱水汚泥	中新川広域行政事務組合、氷見市